

第1回 三木中学校区地域部会 意見のまとめ

開催日：平成30年10月11日

会場：中央公民館

1 三木中学校区周辺の課題

- この地域は、いつごろ再編の対象になるのか。早く学校（小中一貫校など）が建つところと、10年後、20年後となるところでは、地域によって不公平にならないか。ここの地域が何十年経っても変わらないというのも疑問である。
- 三木東中学校は、かつて三木中学校から分かれたという経緯もあるので、大きめの学校である三木東中学校なども再編の対象とし、三木中学校、別所中学校なども含めた広いエリアで再編を検討することも一つである。特定の小規模だけの話ではなく、もっと全体を見て、違う視点で考えることも大切。
- 三木中学校も無くすというぐらいの大胆な再編案も考えられる。学校の跡地については、町づくりのこともしっかりと見据えた施設を考える必要がある。
- 校区は地区と連動しているが、学校再編と地域づくりの考えが、ちぐはぐになると前には進まない。
- 祭りとの関連もあるのではないかと。水利関係の問題など、若い世代には見えてこないようなことも課題になってくるのではないかと。
- 一部の地区では子どもは増えているが、また一気に減るのではと懸念している。それを抑えるための活動、現状維持を目指す活動を自治会でも考えていく。

2 統廃合について

- 星陽中学校区の人たちの気持ちを十分に汲み取ることが大切になる。今も他の地域から入学してくる子がいるが、個別にケアを行っている。三木中学校は、複数の小学校区から生徒が集まってくるので、星陽中学校区から来ても、お互いの人間関係づくりについては馴染みやすく、大丈夫だと思う。
- 地域により文化が異なる。三木中学校という町の中にある学校に行くことにプレッシャーがある子どももいるだろう。本当にあの学校に行きたいという感じにならないと、他の地域や市外への引越しなどが進むのではと懸念している。
- 豊地小学校区の子どもが三木中学校に来た場合、吉川小学校区の子どもだけでは、吉川中学校が小さくなってしまふ。吉川中学校に人を呼び込む方策を考えなければならない。星陽中学校が吉川中学校と統合するという案も1つの考えではある。
- 豊地小学校区の子どもが三木中学校に来るのであれば、三樹、平田、三木小学校と並んで、豊地小学校も三木中学校区となり定着していくので、いずれは、少人数が加わるというイメージは緩和することができるのではないだろうか。
- 小さな学校から大きな学校に行く場合には、少人数の子どもを可能な限り同じ学級に入れることで、初期のギャップを和らげることができるのではないかと。
- 加東市は、計画的に3つに集約したが、町の成り立ちから考えると、同じようにはできない。三木市は、将来を見据えた校区の再編が必要となる。
- 部活によっては、帰宅の時間がバラバラとなる。そのことにも対応する必要がある。そう考えると、公共交通については難しいかもしれない。

- 時間の融通が利くスクールバスがいいが、平日のことだけでなく、土日の部活についてはどうなるのかなど、いろいろな課題がある。
- 自宅からバス停までの距離も気をつけなければならない。無理矢理三木中学校に行かされている、ということにならないよう配慮が必要である。
- 通学の距離は、やはり親として気になる。安全のことがやはり大事。皆にとって一番良い場所に良い学校ができれば、住む人が増えてくるのではないだろうか。子どもをどこに通わせたいかという視点で考えることも大切である。
- 星陽中学校と三木中学校を統合すると、口吉川小学校区の生徒にとっては、三木中学校までの道のりがあまりにも遠い。安全に通うことができることが大切。

3 三木市の学校再編に係る全体案

- 小中一貫校と義務教育学校の違いや特徴をもっと知りたい。再編を進めていくためのもう少し具体的なスケジュールが知りたい。
- ICT 機器を使って通信し、授業や交流を進め、週の中で決められた曜日だけ大きな学校に行き、人と関わるといったことも考えられる。これからの時代、全員が学校に集まって学ぶということが続くかどうかはわからない。多様なことにチャレンジさせることが大切で、画一的なことをやっているだけでは、伸ばしていけない力もあるのではないか。
- 市内に義務教育学校、一貫校、普通の学校が並列してある時、義務教育学校には独自のカリキュラムがあるため、他の学校に転入や転出する場合に課題が出てくるかもしれない。大胆な考えだが、平等にするためには、三木市内で一斉に再編するののも一つのやり方ではないか。学校名も含めて、皆にとって新しい学校にしてスタートするという事も考えられる。
- 一人の子が2回、3回と行く学校が変わることがないように、早目にゴールを設定することが必要と思う。
- 数十年先の将来はどうなるか分からないので、5年や10年くらい先を目標にして考えることが大切ではないか。
- 人口が減っているから出てきた話だが、予測を基に先のゴールを決めて進めることが大切と思う。
- 認定こども園(幼稚園)などとの関連性も図りながら進めてほしい。

4 その他全般

- 学校のことだけではなく、町自体をどうするかという時代が10年後には来る。
- 今の状況がよくわかった。三木市の魅力発信が少ない。教育の方面からも、他の方面からも三木市全体を盛り上げていき、人を増やすことが必要である。
- 仕事で三木に移り住んでまだ日が浅いが、色々なことを知れた。その中でも、喫緊の課題の学校に焦点を絞り、何とかしていかなければ、前には何も進まない。
- 学校再編に当たっては、皆さんの不安を少なくすることが大切である。人が減るという残念なこともあるが、良い学校や良い教育を作っていくという前向きなことも知らせていくことが大切である。
- 他の地区で話し合われた内容を理解した上で、三木市の全体像や三木地区のこれからについて検討していくことが必要だと考える。